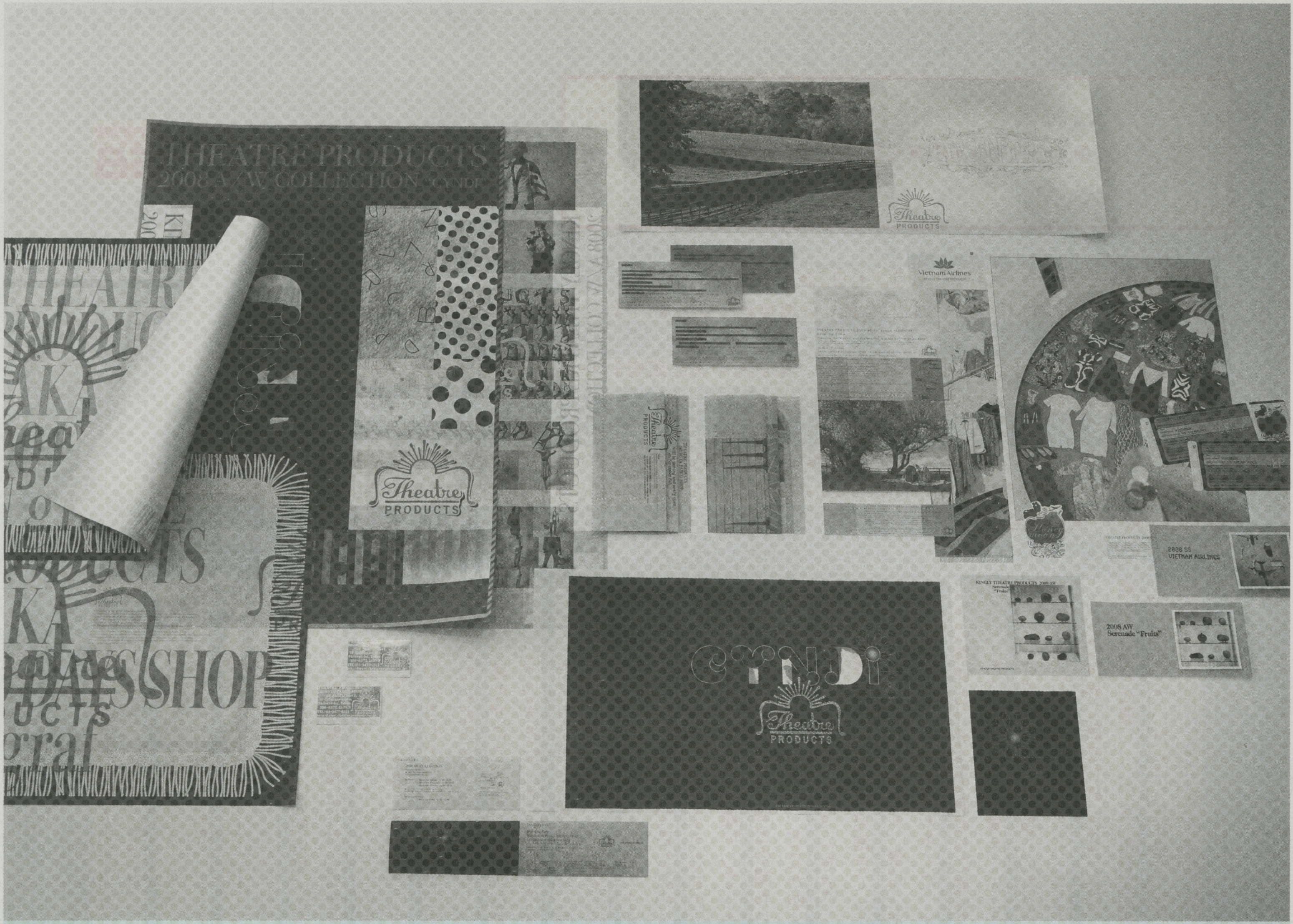

THEATRE PRODUCTS
2008 A/W COLLECTION
Theatre PRODUCTS
CYNDi
Vietnam Airlines
2008 SS VIETNAM AIRLINES
2008 AW Serenade "Fruits"

第十一回亀倉雄策賞受賞記念　植原亮輔展

JAGDA　Creation Gallery G8

二〇〇九年三月二日（月）— 三月二七日（金）
11:00 AM — 7:00 PM　日・祝日休館　入場無料　※会期中は、土曜日も開館します。

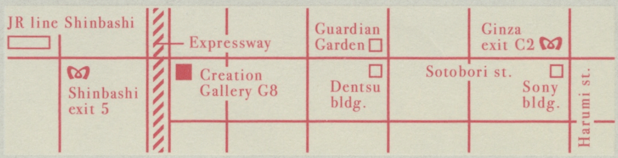
クリエイションギャラリーG8　〒104-8001　東京都中央区銀座8-4-17　リクルートGINZA8ビル 1F
TEL 03-3575-6918　http://rcc.recruit.co.jp/

主催 ／ クリエイションギャラリーG8　共催 ／ 社団法人日本グラフィックデザイナー協会　亀倉雄策賞事務局
協力 ／ THEATRE PRODUCTS, THEATRE MUSICA, LITTLE MORE, KOHAN, TAIYO PRINTING, DRAFT / D-BROS
作品写真 ／ 黒川隆広

初めて亀倉雄策さんの作品を目の前にしたのは、十年前にクリエイションギャラリーG8で行われた展覧会でのことでした。当時、僕は小さなモノをつくることに必死になっていたのですが、亀倉さんの作品を目の前にして、そのパワーに圧倒され、愕然とうなだれてしまうのと同時に、何か未来への期待感のようなものも感じながら会場を後にしたのを覚えています。それは、デザインというものの奥深さとともに、デザインの仕事には社会との関わりそのものが現れるものだということを学ばせていただいたのだと思います。しかし、あれから何年も経たずにこのような大きな賞をいただくことができるなんて、想像もできませんでした。モノづくりというものは、ディテールに向かってしまいがちで、ともすれば、自分一人でもがくことになってしまいます。社会との関わりの無いところで苦しむのは、いわば滝に打たれる修行僧のようなもので、デザインは苦しいものだと勘違いしてしまいがちです。これに対して、社会との関わりの中から生まれたデザインには、どこか明るく、力強いものがあります。ただ、一方で、ディテールへの配慮に欠け、すぐに見飽きてしまうものも少なくはないと思います。僕は、あの亀倉さんの展覧会で見た作品の多くに、ディテールへの興味と社会との関わりの両面を感じ、強く心が揺さぶられたのを覚えています。シアタープロダクツの仕事は、彼らの社会に対する強烈な想いがかたちになったものです。ファッションの世界で自立し続けることは、想像を絶する苦労を要し、この度、亀倉雄策賞として「光」をあてていただいた仕事は、彼らの「汗と涙の結晶」であると、僕は確信しています。

植原亮輔　Ryosuke Uehara ／ 1972年北海道生まれ。多摩美術大学（テキスタイル）卒。現在、株式会社 DRAFT・D-BROS所属。フラワーベース「Hope forever blossoming」、架空のホテルから生まれるプロダクト「ホテルバタフライ」などD-BROSの商品デザインを手がける。2006年から、ファッションブランド「シアタープロダクツ・シアタームジカ」のグラフィック全般におけるアートディレクションを手がける。その他主なクライアントとして、「パナソニック電工」「ウンナナクール・LuncH」「Smiles」など。また、渡邉良重氏と共にショートフィルム「欲望の茶色い塊」（21_21 DESIGN SIGHT・チョコレート展 ／ 2007）の制作や、「SPACE FOR YOUR FUTURE」（東京都現代美術館 ／ 2007）に参加。2008年10月「時間の標本」展をAMPGにて開催するなど活動は多岐に渡る。東京ADC賞、JAGDA新人賞、TDC賞、N.Y.ADC金賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ銀賞等、受賞多数。東京ADC会員。JAGDA会員。

亀倉雄策賞について ／ 1997年急逝した亀倉雄策の生前の業績をたたえ、グラフィックデザイン界の発展に寄与することを目的として亀倉雄策賞が設立されました。この賞の運営と選考は社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）が行い、毎年『Graphic Design in Japan』出品作品の中から、年間で最も優れた作品に対して贈られます。

オープニングパーティ
日時 ／ 二〇〇九年三月二日（月）7:00 PM — 8:30 PM　場所 ／ リクルートGINZA8ビルの1Fロビー（ギャラリー隣）

第209回クリエイティブサロン
日時 ／ 二〇〇九年三月十三日（金）7:10 PM — 8:40 PM
会場 ／ クリエイションギャラリーG8　入場無料　要予約
ゲスト ／ 植原亮輔、金森香（シアタープロダクツ）、
阿部海太郎（シアタームジカ）
シアタープロダクツの仕事の紹介と阿部海太郎氏によるミニライブ